

県民過半数署名めざし職場、地域から

◆ 教研集会でも「憲法劇」を上演 —和歌山高教組— ◆

憲法改悪の策動が強まるなか、和高教では憲法問題を軸に据えたとりくみをすすめています。

「職場9条の会」は、これまで10の職場（和高教全体の約2割の分会）で結成されています。その活動内容はさまざまですが、昼食会とセットにした学習会の開催、ニュースの発行、平和研修ツアー、キーホルダーの作成など工夫をこらしたとりくみも行われています。結成職場が10職場に達した8月には、「高校職場9条の会交流会」を開催しました。

憲法九条を守るわかやま県民の会に結集し、毎月9日にはJR和歌山駅前を中心にビラ配布、署名活動、宣伝カーにのぼりを立てての宣伝等のとりくみを行っています。憲法九条改悪に反対する署名は、和高教でこれまで5500筆以上を集約していますが、2007年度は秋季闘争方針として県民過半数署名のとりくみを提起し、組合員1人30筆を目標に掲げています。また、県下各地域での署名集約行動には各支部役員のほか、分会からの参加も徐々に行われるようになっていきます。今後、このとりくみがさらに広がることが期待されます。なお、来年度大会では、憲法改悪反対のとりくみを財政的に支えるために、職場カンパを含む特別会計を提案する予定です。

10月に開催した高校教研でも憲法を軸にした催しを企画し、全体会では教職員有志による構成劇『学校・職場に憲法を！』を上演しました。「授業時間」・「愛国心」・「書き替え」・「学校・職場に憲法を」の四話からなる短い劇でしたが、教育基本法の改悪、「新たな職」の設置、教員免許更新制などの問題も含め、「戦争する国」づくり、「職場9条の会」、県民過半数署名等々の情勢にユーモアを加えたもので、参加者にも好評でした。

今後も憲法改悪の策動に対する問題意識を沈静化させることなく、常にとりくみの軸に据える構えです。県民過半数署名のとりくみでは積極的に地域に入っていくこと、結集する人の輪を広げることがめざします。また、「職場9条の会」がさらに多くの職場で結成されること、とりわけ、未来を担う青年層に憲法問題の重要性を伝え、浸透させることを追求します。

全教作製のDVDを使った職場などでのとりくみの報告をぜひお寄せください。